

鹿本幼稚園に関する陳情

(文教委員会付託)

受理番号 第 61 号

受理年月日 平成 23 年 10 月 26 日

付託年月日 平成 23 年 10 月 27 日

陳情者
.

陳情原文 平成 23 年 8 月 31 日に学校評議員、鹿本幼稚園歴代 P T A 会長に対し、鹿本幼稚園の閉園を告げられました。

当該幼稚園は設立 46 年の伝統あるものであり、数多くの修了生を出し現在ではその修了生も保護者、ボランティアとなり当該幼稚園をささえております。

近年、人間関係の希薄化、地域における地縁的なつながりが希薄化している中で当該幼稚園は子育ての意見交換の場所にもなっており、社会の無縁孤立が進んでいる中で、我が子を自らの手で育てたいと思っているにも関わらず子供にどのように関わっていけばよいのかわからず悩む在園児保護者・未就園児保護者に対する貢献度が多大であります。児童相談所における虐待に関する相談処理件数が増加しているように当該幼稚園が無くなることにより、さらに増えるのではないかと心配があります。

また当該地域には徒歩で通える幼稚園がありません。東日本大震災においてバス通園による遠くの幼稚園に通う園児の安全が確認できなかった事例もありました。

地域で大切な役割を果たしている当該幼稚園に関わっている人たちとの協議の場もなく行政の一方的な考えで閉園を決定してよいものでしょうか。

幼児教育にとって大切なことは家庭、地域社会、幼稚園の三者のバランスであると考えます。よって、その一つである地域社会における教育のお手伝いをしている私たちは、地域の子供たちのために、鹿本幼稚園の存続を求め陳情いたします。